

生物観察会

目的

身近な生物環境を
「じぶんごと」して考える

令和7年度 作手地域自治区 地域活動交付金の事業募集 地域活動交付金事業

令和6年11月30日～2月27日（金）に応募

地域活動交付金は、地域の課題解決や地域の活性化のために市民が主体的に取り組む活動に活用されます。

1. 応募資格・要件

- 次の要件すべてを満たすこと。
- ① 16歳以上の者が、事業実施期間中に本市内に居住する者が1名以上いること。
- ただし、団体の構成員のうち、本市内に居住する者が1名以上いること。

事業内容をプレゼン

対象となる団体は、行政区や子供会などの地縁に基づく団体や、テーマにより結びついた市民活動団体などがあ

2. 対象事業

令和7年度から 事業として開催



「創造の森 城山公園」で実施

昆虫類を中心
に観察
（トラップを
仕掛けまし
た！）

令和7年度 生物観察会の様子（目的：いろんな生き物を見る）



水生生物の観察会



陸上生物の観察会



土壌生物の観察会

令和8年度 生物観察会の様子（目的：自ら発見し観察する）



作手生物探検の様子

生物観察会

令和7年度 生物観察会



2025.6.22
水生生物観察会



2025.8.17
陸上生物観察会



2025.11.8
土壌生物観察会

参加者：8名
(子供5／大人3)

ホトケドジョウ
(絶滅危惧ⅠB)
など観察

参加者：9名
(子供5／大人4)

20種以上の
昆虫類を観察

常設展示
ミクロな世界
の生物を紹介

メディア・コンテスト を通じて活動を発信



2025.9.1 中日新聞
生物観察会の様子掲載

全国ユース環境活動発表大会 全国大会
SDGs活動特別賞

令和8年度 生物観察会 (現在までに2回実施)



2026.6.21 生物探検

参加者：42名
(子供30／大人12)

捕まえた昆虫を
図鑑見せながら
子供たちに解説



2026.8.9 生物探検

参加者：14名
(子供8／大人6)

準絶滅危惧アカハライモリ
コオイムシ観察

**活動の発信により
参加者急増**

(離れた地域からの参加者も!?)

外来種問題啓発活動



令和5年度から
アメリカザリガニ駆除実施

現在までに…

150匹以上駆除

外来種啓発活動を発信



一般社団法人
ClearWaterProject主催
環境学習会にて
活動発表

2026.9.13 発表の様子

外来種キーホルダー贈呈
(フェモラータオオモブトハムシ)
食用昆虫科学研究会と共同で
駆除した個体を使用



アメリカザリガニ利活用

① アメザリ肥料の肥効検証・活用

小松菜の生育に違いあり!?

明らかに大きい!!

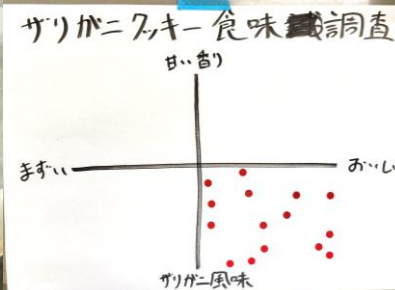


アメザリ肥料入れた
寄せ植えづくり

作手総合支所
に展示



② 食用として利用検討



ザリガニクッキー作成・試食
味は良いが**後味ザリガニ**が課題

閉校後も保全していく仕組みづくり

目的 活動発信・環境学習会を通じた**環境保全の担い手育成**

生物保全活動の発信



新城市長
下江洋行様
に活動報告

目的 活動を知っていただき
協力体制を築く

名古屋市農業センター開催
活動パネル展示
&
ワークショップ

目的
・作手の環境を伝える
・身近な生き物に目を向ける

外部団体と連携した環境活動

目的
・調査手法を学び、活動に生かす
・将来の**保全活動の担い手育成**への貢献



一般社団法人ClearWaterProjectと連携活動

共通目標

閉校後の作手地区の
環境保全を担う人材育成
と仕組みづくり

サギソウ園芸種の除去
湿地での生態調査を体験



グリーンフロント研究所株式会社 主催の湿地保全活動参加

閉校後も保全していく仕組みづくり

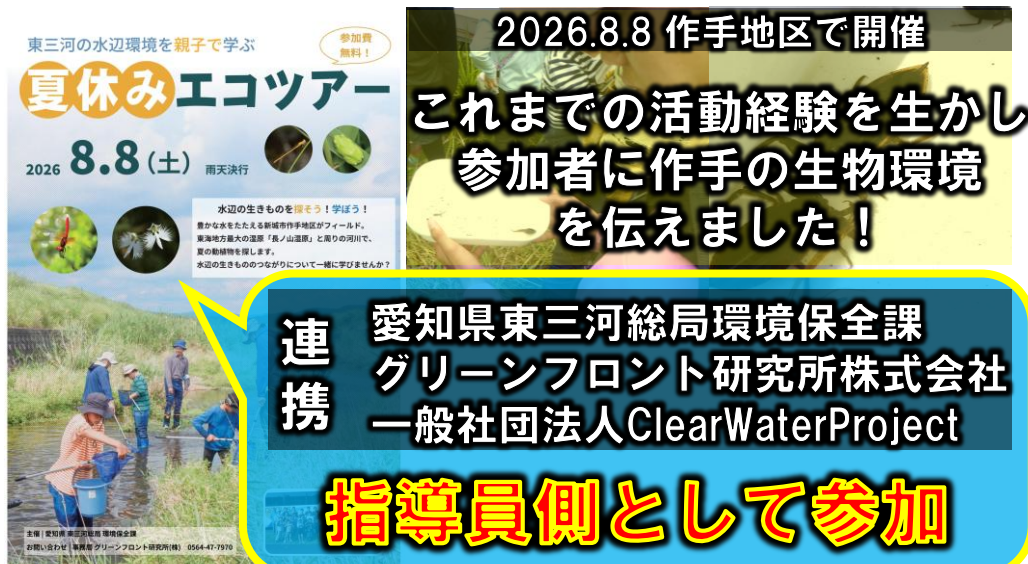
保全活動の発信による活動の広がり



生物多様性の保全に関して 連携協力協定 締結

目的 持続可能な地域社会の形成
と未来を担う人材育成

外部団体と連携した環境教育の効果



これまでの活動が
市の環境基本計画に盛り込まれる
第2次新城市
環境基本計画

閉校後も保全につながる
仕組みづくりに近づいた！